

第五十六期天理教学生会活動方針

共に楽しんで笑顔の種をまき、日々の陽気ぐらしを実践しよう！

今いる仲間、これから繋がる仲間と共に、人が笑顔になる方法を考える。どんなことにでも喜ぶことができ、普段のありがたさに気づけることで笑顔になる。人を笑顔にするためには自分が笑顔になることが大切。一日一日を大事に、勇んで陽気に通ることが陽気ぐらしの第一歩となる。

一、親神様、教祖の思いを求めよう！

悩んだ時、辛い時、壁に当たった時に、親神様は何を教えて下さっているのか、どういうメッセージを下さっているのかを考える。そんな時に教祖はひながたをお残し下さっている。そのひながたをたどり、教祖ならどうなされるのかを考える。

二、互いに立て合い、楽しく助け合おう！

みんながどんなことでも感謝し、勇ませ合える姿こそ真の陽気である。そこに向かうには、相手の心に寄り添い、理解することが大切。

その中で悩んでいる人、困っている人にも目を向け、自分にできる働きかけをする。

三、陽気ぐらしの匂いをかけよう！

楽しい雰囲気には自然と人が寄ってくる。

自分から物事を楽しみ、笑顔で溢れることでその雰囲気が伝わる。親神様、教祖の教えを学んだことを行動に移すことで、その行動を見た人に匂いがかかる。